

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 檜原市立 今井小学校

① 学習指導案

プログラム	No. 2 「 これはどこだ?探してみよう今井町パーツ」
単元名 (全 時間)	今井町 フォトテーリング (全8時間)
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の景観や自然は、さまざまなものからつくられていることに気づく。 ・地域のすばらしさを感じ、地域への愛着を育てる。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 今井町について知っていることを共有する。 2 地域へ出かけ、写真を撮る。 3町の特徴をおさえながら、伝えたいことを考えてマップを作る。 4自分たちの住んでいる地域は様々なものに囲まれていることに気付く。 5今井町のことを2年生に向けて発表する。
参考資料 準備品 実施場所等	<p>準備物：ワークシート、Chromebbook、今井町の地図</p> <p>実施場所：教室、今井町内</p>

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2	<ul style="list-style-type: none"> ・今井町の知っていることを挙げる ・今井町オリジナルマップを作ることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習や、身近なものを振り返り、地域には魅力がたくさんあることに気づかせる。 ・野外活動で行ったフォトテーリングを生かし、今井町のマップを作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の意欲(観察)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに役割を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に体験した野外活動でのフォトテーリングをもとに何が必要なのかを気づかせる。 ・事前に撮影していいもの、駄目なものを情報リテラシーと合わせて指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の意欲(観察) ・課題追求能力

2	・今井町にでかけ、フォトテーリングのためのマップや写真を撮る。	・全学年が読みとける内容で作成する。 ・グループごとに発表内容を考えさせ、2年生に伝わりやすいように工夫させる。	(写真) ・課題追求能力(作品) ・活動の意欲(観察)
2	・写真を元に、地図やクイズを考え作成する。		
1	・地図とクイズを考え、2年生に向けて発表をする。	・学校で作ったものを家族に紹介することで、学習の内容を伝える機会を作る。	・振り返りシート(ワークシート)

<留意点>

- ・写真を撮りに行くときに、安全確保をする。特に道幅がせまいので、通行人等の妨げにならないように指導する。
- ・写真を撮るときには情報モラルを守ることを指導する。

② 事業実施報告書詳細

学校名 橿原市立今井小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
2	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・今井町に知っていることを出しあう。 ・野外活動で経験したフォトテーリングを2年生対象に行なうことを伝える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今井町のことを知っていることもあれば知らないこともある様子だった。
3	教室 今井町	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、どこをクイズにするのかを話合う。 ・今井町に出かけ、どこをクイズにするのか相談を行い、写真を撮る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今井町の知っていることを伝え、情報を共有していた。 ・グループの代表者がchromebookを持って、写真を撮った。対象を2年生を伝えていたために、上級・中級・初級とレベル別に考えていた。
2	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・撮ってきた写真をもとに、ロイロノートを使い、問題や写真作成を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・イラストを交えて、楽しい問題をよく考えていた。
1	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の生活で「町探検」に出かける際に、一緒に持つて行きフォトテーリングを行つてもらった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友だちが作った写真クイズを見せてもらいながら、一緒に楽しみ、知らないことを発見することが出来ている様子だった。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

写真やインターネットでのみで調べるのではなくて、実際に今井町に行くことで、地域のことを知る機会を作ることができた。

グループで作成をしたので、話し合う機会ができたり、役割分担を決め、計画的に実行することができ、子どもたちも達成感を得ることができた。

(2) 実施にあたり苦労した点

子どもたちと一緒に今井町を回ったが、安全上、行きたい所に自由に回ることが出来なかつたので、散策するには安全を守るために工夫が必要であると感じた。

(3) 児童の反応

2年生を対象にすると伝えたので、子どもたちは誰に対して行うか明確になり作成することができた。また、自分たちの地域のことであるために、全員が興味を持ちながら主体的に活動することができた。今井町を歩くことで、危険など新たな発見をしたようで実際に目で見て感じることができ、次の課題を発見できたようである。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

教員側も知らないことがあり、繰り返し調べることで今井町の良さや、歴史がたくさん発見することができた。一緒に調べることで、私たちも楽しくでき、また対象を低学年にしたことで「知ってほしい！」という気持ちを持ちながら、取り組むことができたように思う。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕
今井町を歩いて知るためには、子どもたちの安全のために大人や地域の方の手助けが必要であると感じた。教室内だけでなく、外に出て環境をかえる事で子どもたちの目の輝きや取り組む姿勢が違った。今後も、もっとたくさんの経験を積んで、自分たちで疑問を見つけ、自分の住んでいる地域に誇りをもってほしい。

各学年に応じて、地域学習を続け、今井町の素晴らしさや大切さに気付けるような取り組みを行っていきたい。